

<b>PTA活動紹介</b>		高P連受付番号	1
PTA(学校)名	愛知県立津島北高等学校	部門	安全
活動テーマ	「つしま北高校 交通安全まもり隊」活動 ～生徒・教職員・保護者協働による安全街頭指導		
キーワード	交通安全・地域社会貢献		
開催日	5・9・10・11月の「交通事故ゼロの日」に各月1回ずつ(5月は2回)開催 〔平成29年5月10・20日、9月20日、10月20日、11月20日〕		
場所	①名鉄尾西線町方駅西側交差点 ②ヨシツヤ津島北テラス北東側交差点 ※ともに本校生徒の多くが通学に利用する交差点		
時間	8:00～8:30 ※生徒の登校時間		
参加者	12名(1回あたり) ※内訳 : 生徒代表 6名 [1・2年生各クラスの生活委員2名 計12名が各回交替制で担当] 教職員 4名 [生徒指導主事、総務主任、他2名が交替制で担当] 保護者 2名		
趣旨	これまで、「交通事故ゼロの日 安全街頭指導」として、教職員と保護者で行ってきた活動に、「従来守られる立場であることが多かった生徒自身にも、交通安全や地域社会の安全を主体的に考え、行動できるようになって欲しい」との思いから、昨年度9月より生徒代表(生活委員)も加えて再編成し、本年度から新体制での本格的な実施となりました。本年度は、生活委員だけでなく、9月には、部活動(バレーボール部)から有志の生徒も参加しました。 本校生徒だけにととまらず、ドライバーや地域の方たちに対しても、交通安全・地域安全を呼びかけます。		
活動ポイント	本校生徒に対してのみならず、ドライバーや地域の方たちに対しても、「交通社会におけるマナー向上や順法意識の高揚」、「積極的な声かけ(挨拶)による地域社会の見守り」を図っています。		
主体委員会名・講師名等	PTA生徒指導委員会		

### 〔参加者の感想等〕

#### ◇参加生徒の感想

『本校の生徒だけでなく、地域の方や他の学校の人の役に立つことができ、とてもうれしかったです。私自身も、これから交通安全に十分気をつけて登校しようと思いました。まだ機会があれば、参加したいです。(部活動有志)』



〔交差点に向け、「まもり隊」出〕

#### ◇通学生徒の感想

『私もこの交通安全運動に参加したことがあります。交通安全を呼びかけていくうちに、私自身も交通安全に努めるようになりました。「まもり隊」の活動をこれからも引き継いで欲しいです。』



〔横断歩道を渡ってくる生徒を前に、「まもり隊」待機〕

#### ◇教職員の感想や期待

『「まもり隊」は2年目の活動に入りました。卒業生から渡したバトンを下級生につなげていって欲しいと思います。今さらに活動を発展させ、地域の安全を共に図っていきましょう。(生徒指導主事)』

#### ◇保護者の感想や期待

『「交通安全まもり隊」に参加させていただき、真剣に挨拶運動などに取り組む生徒たちの姿勢が、元気がありとてもよかったです。この活動を通じて、交通安全や交通社会におけるマナー向上、地域の方々やドライバーの方々にも良い影響を与えることができると思います。』

これからも、見守り活動の場を広げて続けていってください。  
(PTA生徒指導委員・常任委員)』



〔横断幕を広げ、「まもり隊」活動開始〕

### 〔横断幕の作製〕

従来から使用してきた交通安全の「のぼり」に加え、昨年度からの再編成を機に「横断幕」を3本新たに作製。

#### ① 「交差点 一旦停止を ころがけ！」

交差点 一旦停止を ころがけ！  
つしま北高校交通安全まもり隊

#### ② 「締めましょう！ 命をつなぐ シートベルト」

締めましょう！ 命をつなぐ シートベルト  
つしま北高校交通安全まもり隊



#### ③ 「自分から すずんで挨拶 みな笑顔」

自分から すずんで挨拶 みな笑顔  
愛知県立津島北高等学校

とのスローガンをデザインした「横断幕」を街頭に掲げることで交通安全と地域安全への呼びかけが、周囲に、より効果的に伝わるようになりました。

因みに、「横断幕」はいずれも生徒からの公募、投票を経て選ばれたもので、この点においても、「この活動に自分たち生徒も主体的に関わっていくんだ」との意志が表われているように思います。



### 〔今後の抱負〕

地域社会との連携を模索していきたいと考えています。

※地元ロータリークラブや近隣小中学校PTAと協力・連携しての児童生徒への「見守り活動」の実施も視野に入れ、活動の輪を広げていきたいです



### 街頭指導の様子

#### <ヨシツヤ津島北テラス付近>



#### <名鉄尾西線町方駅西側交差点>



PTA活動紹介		高P連受付番号	
学校名	岡崎高等学校	部門	安全
活動テーマ	PTA研修講演会		
キーワード	防災・減災	関東大震災	連携
開催日	平成29年10月12日(木)		
場所	岡崎高校 第1体育室		
時間	13時10分～14時40分		
参加者	保護者240名 (1年生保護者113名・2年生保護者100名・3年生保護者27名)		
趣旨	未曾有の被害を引き起こした1995年の阪神淡路大震災、2011年の東日本大震災を日本は経験し、さらに現在も各地で大小の地震が引き続き起きている。ここ愛知県も、近い将来巨大地震に直面する可能性が大きいという報道が頻りに流されている。そんな中で、我々は過去の経験を踏まえて、今どんな備え、心構えをする必要があるのか真剣に考えていく時期に来ている。そこで減災研究の専門家であり、その分野の一人者である武村雅之教授に講演をお願いし、今我々ができる備えについてご教授いただくことにした。		
活動ポイント	各家庭における防災、減災への意識を高める。		
主体委員会名・講師名等	PTA主催 講師:名古屋大学減災連携研究センター教授 武村 雅之 先生		



武村 雅之 先生



講演風景

- (iii) 関東大震災の被害(死者数)  
住家全潰(11,000人) 火災(92,000人) 土砂災害(800人) 津波(300人)  
震源から離れた東京で被害が最大であった。特に陸軍被服廠跡地の死者が38,000人であった。理由は自宅から持ち出された家財道具の山が燃えたこと。
- (iv) 1944年東南海地震による名古屋市の被害  
堀川の西側の埋め立て地の南区、港区で被害が大(名古屋駅を人里離れた西に作ったのが発端)
- (v) 大正13年6月初の耐震基準が成立  
耐震基準の果たした役割は大きい。⇒耐震基準成立後の地震被害が極めて少ない。
- (vi) 防災・減災の3つのポイント  
(1) 科学技術は道具であり、神様ではない。⇒科学技術は人間の持つ自然への畏れを覆い隠す  
(2) 護る物を極力減らせ！⇒近代人は”命が天から賜ったもの”とは思えない  
(3) 社会の中で生きていることを忘れるな！⇒近代社会は細分化の社会で連携を妨げる



講演会会場風景



保護者による質疑応答

【講演のポイント】講演タイトル:「歴史に学ぶ防災論 人生無常の実際に覚醒せよ」

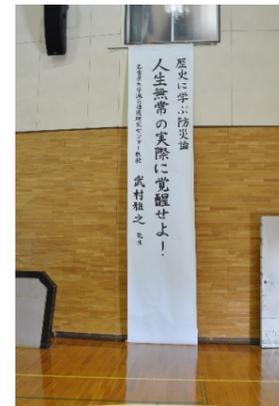
- ① 講演の流れ(司会:PTA補導部部長)
  - 13:10 開会あいさつ及び講師紹介(PTA会長)
  - 13:20 講演開始(講演70分)
  - 14:30 講演終了、質疑応答
  - 14:40 謝辞(PTA会長)
  - 14:45 閉会



PTAによる司会進行



PTA会長あいさつ



生徒による題字

② 講演講演の内容

- (1) 講師自己紹介
- (2) 防災論について
  - (i) 明治村の建造物  
関東大震災を体験している建造物が非常に多く移築されている。
  - (ii) 名古屋市内にある慰霊碑・慰霊堂が伝える関東大震災  
愛知県内への避難民が15万人いたという事実を物語っている。

メール送信先 [info@aichikoupren.org](mailto:info@aichikoupren.org)

③ 講演会に対する保護者のアンケート結果

- ・「歴史から防災を学ぶ!」、とても興味深く聞くことができました。今住んでいる家の歴史も調べてこれからの我が家の防災対策に役立てていきたいと思います。
- ・防災論は日常生活の様々なことに応用できると考えました。子育てにもヒントになりました。
- ・普段、テレビの報道等で耳にする地震防災のお話と違った視点でお話をいただけてとても興味深かったです。
- ・地震の時の心構え以外にも、生き方など貴重なお話が聞けて、とても有意義な時間でした。
- ・これからの生き、これからの担っていく岡高の生徒にこの話を聞かせたい。
- ・貴重なお話ありがとうございました。目が覚めた思いです。命を守るために、すぐ行動して心配事をなくしていこうと思います。
- ・想像以上の面白さで興味深い講演でした。広く広く考える機会になったように思います。
- ・普段からできることで自分自身のゆとりを生み、行動につながられるという事など、本当に印象に残るお話でした。

PTA活動紹介		高P連受付番号	
PTA(学校)名	愛知県立豊田西高等学校	部門	安全
活動テーマ	親子講演会「安全スマホ教室」の開催と運営		
キーワード	PTA役員主催行事	親子で講演会を聞く	スマートフォンの安全利用
開催日	平成29年5月20日(土)		
場所	愛知県立豊田西高等学校 鴻志館(体育館)		
時間	親子講演会11:15~12:10		
参加者	一般参加者 1・2年生保護者 122名 運営委員 PTA役員 8名		
趣旨	<p>家族行動の個別化が進み、家族と十分な会話ができないノーコミュニケーション家族が増加している可能性がある。このことは、生活満足度の低下をもたらしている要因の一つといえる。</p> <p>そこで、親と子どもが家庭で共通の話題で会話をする機会を設けることが必要と考え、PTA役員会で議論を重ね、親子で一緒に講演会を聞くことが家族団らんの一助となると考えた。</p> <p>講演会の内容については、高校生になって所持する生徒が多くなる「スマートフォンの安全利用」について行うこととした。</p>		
活動ポイント	親子で「スマートフォンの安全利用」についての講演を聞き、家庭でのルールづくりに役立てる。企画・運営をPTAだけで行い、PTA活動の活性化につなげる。		
主体委員会名・講師名等	PTA役員会 講師(縁エキスパートに依頼)		
<p>[準備日程]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度第4回PTA役員会で次年度の講演内容、講師、期日の検討(年度内に学校と連携しながら決定)</li> <li>4月6日(木)第1回PTA役員会で講演内容、講師、期日の提案</li> <li>4月21日(金)第2回PTA役員会で講演内容、講師、期日の決定</li> <li>4月21日(金)第1回PTA地区学年委員会で提案</li> <li>5月13日(土)第3回PTA役員会で詳細日程、役割分担等の確認</li> </ul>			
<p>[講演会当日]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>9:00役員打ち合わせ</li> <li>9:30から受付、誘導案内、駐車場案内に分かれ係別の業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>受付係(前半2名、後半2名)</li> <li>駐車場案内係(前半2名、後半2名)</li> <li>案内誘導係(前半2名、後半2名)</li> <li>会長と副会長は講師対応</li> </ul> </li> <li>10:00~11:00 土曜セミナー見学会 体育館へ移動</li> <li>11:15~12:10 親子講演会 <ul style="list-style-type: none"> <li>司会進行(PTA副会長)</li> <li>講師紹介(PTA会長)</li> <li>講演(縁エキスパート 講師 尾平晃一氏)</li> <li>謝辞(PTA会長)</li> </ul> </li> <li>12:30役員・協力員集合、片付け、解散</li> </ul>			
<p>[講演会后]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート集約</li> <li>椅子片付け</li> </ul>			
メール送信先	<a href="mailto:info@aichikoupren.org">info@aichikoupren.org</a>		

[親子講演会]  
○講演内容について  
講演会の内容については、中高生が陥りやすい事案(プライバシーの流出、架空請求詐欺など)をパワーポイントで分かりやすく説明していただいた。単にスマホの危険性についての説明だけでなく、「今何をやるべきか」とか「時間を大切にすること」など、キャリア教育の要素も含まれた講演内容で、生徒は最後まで真剣に聞き入っていた。また、講師の尾平晃一氏は「安全スマホ教室」の講師だけでなく、Jリーグや高校野球の実況中継、ラジオ番組のDJなどを務めていることから、「話し方」「伝え方」についても参考になった。



講演会の様子(保護者席)



アンケート記入の様子

[アンケート結果]

1 講演会全体

項目	割合
①とても良い	75%
②良い	22%
③普通	3%
④あまり良くない	0%
⑤良くない	0%
計	100%

2 内容について

(1)スマホとの付き合い方について

項目	割合
①理解できた	72%
②やや理解できた	26%
③普通	1%
④あまり理解できない	0%
⑤理解できない	0%
計	100%

2 内容について

(2)親子で講演を聞くことに対して

項目	割合
①とても良い	74%
②良い	25%
③普通	1%
④あまり良くない	0%
⑤良くない	0%
計	100%

4 次回以降の開催について

項目	割合
①続けて欲しい	82%
②どちらでも良い	18%
③あまり必要ない	0%
④必要ない	0%
計	100%

[まとめ]

参加された保護者のアンケート結果によると、概ね高い評価を得ている。その理由については記述欄から次の二つが考えられる。一つは情報を親子で共有することで、家庭で話し合いをすることができること。二つ目は生徒が講演会を聞く様子を見ることで、日常の学校生活を感じることができたということ。このような結果を受けて、次年度以降についても「親子で聞く講演会」を企画したいと考えている。テーマについては、スマホの使い方に限らず高校生と保護者にとってタイムリーなものにしたい。



受付の様子



講演会の様子(講師と生)

<b>PTA活動紹介</b>		高P連受付番号	4
PTA(学校)名	愛知県立岡崎東高等学校	部門	生徒指導
活動テーマ	岡東生、活力モリモリ大作戦(青少年健全育成活動)		
キーワード	元気な挨拶	交通安全	いじめ防止
開催日	平成29年11月24日(金)		
場所	岡崎東高等学校 正門周辺及び各学年昇降口		
時間	午前7時50分～午前8時40分		
参加者	PTA役員・委員:11名 生徒指導部職員等:9名		
趣旨	愛知県教育委員会 教育キャンペーン「いじめ防止～自他の命を大切にし、多様な人々の存在を尊重しよう～」の趣旨を踏まえ、子供たちの健全育成に向けて、PTAと教職員による合同の交通安全指導、挨拶運動及び青少年健全育成、いじめ防止啓発に向けたティッシュ配付を行った。		
活動ポイント	一日のスタートとなる、登校時の生徒へ元気よく積極的に声かけを行うことで、子供たちに元気を与え、より親密な関係を築く。		
主体委員会名・講師名等			

**【概要・目的】**

○交通ルール遵守及びいじめ等の問題行動防止の呼びかけ

1 登校時間の交通量と生徒の交通マナー状況の把握

本校では、生徒の登校時間に国道1号線の渋滞回避のため、学校前の道路を抜け道として利用する車が年々増加している。一部の通学路は車の交互通行ができない道幅の箇所もあり、自転車通学者の交通事故が懸念される。また、正門付近における生徒送迎の保護者の車と登校生徒との交錯も心配である。このような状況をPTA役員に把握していただき、その改善に向けて御意見をいただく機会とする。

2 いじめ防止等健全育成に向けた挨拶の実施

学校では日頃から生徒に対して挨拶の励行に取り組んでいるが、一日のスタートとなる朝から、PTA役員の方々と元気な挨拶を交わすことで、一層活力に満ち充実した学校生活を送るための機会とする。併せて、いじめ防止啓発のティッシュを配布し健全育成を推進する。

3 生徒の身だしなみ等の実態の把握

自分の子供以外の本校の生徒全体像を把握していただく機会とする。



正門での挨拶(PTA役員・委員)



昇降口でのいじめ防止ティッシュ配付